

愛知民報

2018年
2月11日
第2385号

発行所 愛知民報社

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目 12番 25号
愛知あかつき会館内
☎(052)251-2925 FAX(052)261-6063
定価 月 400円 郵送料 164円 1部 100円
毎週日曜日発行 (第5日曜日は休刊)
1966年7月31日第三種郵便物認可

週刊

愛知民報を
周りの人に

問題だらけ ストップ! リニア

沿線住民が反対運動



坂下非常口 2017年12月26日、春
日井市坂下町

春日井市 坂下非常口
深夜3時まで作業

愛知県内は、名古屋市周辺を除いて地下40mより深い大深度地下トンネルです。非常口(立坑)から建設機械の出し入れや土砂の排出がおこなわれます。非常口は開業後、緊急脱出口になります。非常口(春日井市)と坂下(名古屋市中区)が建設中。工期優先の工事が強行されています。名城非常口は国や

県、名古屋市の機関が集まる官庁街で隣は病院です。ダンプは最大1日140台。生コン打設

作業時は1日600台の生コン車が集中しま

名古屋駅

(2面に
関連記事)

安倍政権が後押しするJR東海のリニア中央新幹線設計画。公的資金3兆円が投入されるもと、ばく大な国民負担、環境破壊、電力浪費、ゼネコン巨額談合事件など重大問題が噴出。計画沿線住民が「ストップ・リニア」訴訟をおこしています。愛知県内で指摘されているリニア

計画の問題点をまとめました。

愛知県

さいお
西尾
非常口

岐阜県

保守基地
(施工ヤード造成)

※網掛けは工事中、あるいは工事説明会が行われたところ。トンネル本体は未着工。

住宅地を通って土砂搬出

坂下非常口(春日井市)から発生する10万立方㍍の土砂は、通称「瀬戸グランドキヤニオン」と呼ばれる瀬戸市内の珪砂(けいしゃ)鉱山跡地の埋め戻しに使われます。JRが明らかにしている坂下非常口から鉱山跡地までのダンプカーの走行ルートは春日井市内は、国道155号線と高蔵寺ニュータウンに沿った県道で、ともに住宅地です。瀬戸市内でも住宅や学校、商業施設近くを走るため、交通事故の発生や渋滞の悪化が心配されています。



陥没事故からの復旧工事をおこなっている春日井市の前平ちびっこ広場=2015年10月25日



資材が積み上げられている春日井市の西尾保守基地・非常口の工事ヤード=4日(川本正彦さん提供)

地盤沈下、土壤汚染の恐れ

リニア新幹線のトンネルが通過する春日井市内の地下には、太平洋戦争前後の時期に採掘された亜炭(低質の石炭)の坑道跡が縦横に張り巡らされています。同市内ではしばしば陥没事故が発生。2015年2月にはリニア路線から1120メートルにある児童公園で

掘られた亜炭(低質の石炭)の坑道跡が縦横に張り巡らされています。「坑道の中は地下水が充満して地盤を支えているといわれています。トンネル工事や列車の走行の振動で水が抜ければ陥没が起きるのです」と指摘しています。土壤汚染も心配されます。

周辺に分布する「美濃帶」と呼ばれる岩石について、「掘り起こされ、碎かれ、水に触れると主成分の黄鉄鉱と酸素と水が反応し強い酸性の硫酸が生成する。硫酸は土壤中の重金属を溶かし出し深刻な水質汚染・土壤汚染が発生する危険がある」と警告しています。

います。元愛知県公害調査センター職員の大沼淳一さんは、保守基地が設置される予定の西尾(さいお)非常口